

令和 7 年度 事業計画

社会福祉法人しらゆり会

設立認可 : 平成 17 年 2 月 25 日

所在地 : 豊中市中桜塚 2 丁目 9 番 24 号

代表者 : 理事長 武内慎吾

法 人 概 要

【法人の沿革】

平成 17 年 2 月	「社会福祉法人しらゆり会」創設	理事長	吉田純彦
平成 17 年 4 月	「さくらづか保育園」開園（定員 70 名）	園長	豊島朱美
平成 19 年 4 月	「のばたけ保育園」開園（定員 140 名）	園長	吉田純彦
	「さくらづか保育園」施設長変更	園長	土井文子
平成 23 年 4 月	「さくらづか保育園」定員 90 名に変更		
	「のばたけ保育園」定員 160 名に変更		
平成 25 年 4 月	「さくらづか保育園」施設長変更	園長	村上美香
平成 27 年 9 月	「のばたけマミー保育園」開園（定員 20 名）	園長	奥瀬佳代子
平成 29 年 6 月	「社会福祉法人しらゆり会」代表者変更	理事長	浅尾利機
平成 30 年 4 月	「さくらづか保育園」定員 120 名に変更		
平成 30 年 7 月	「社会福祉法人しらゆり会」代表者変更	理事長	武内慎吾
令和 3 年 4 月	「さくらづか保育園」「のばたけ保育園」を幼保連携型認定こども園へ認可変更		
令和 5 年 4 月	「のばたけマミー保育園」施設長変更	園長	長橋佳子

【保育の方針】

保育理念：「こどもはみんな宝物」

「こども達の最善の利益の尊重」

「こども達の育ちを支え、保護者の子育てを支える」

保育目標：「心身ともに健やかで、仲間を大切にする生き生きとしたこどもの育成」

- しなやかな身体と心を育む
- 仲間の中で自己主張でき、自分のことだけでなく相手のことも考え、認め合い、豊かな関わりを持つこどもを育てる
- 自分は大切な存在であると、自信をもって行動するこどもを育てる
- 自分で考え行動し、達成感・満足感を持てるこどもを育てる

職員心得

- 私たちはこども第一で仕事をします
- 保育士・保育教諭は、こどもの模範である事を常に自覚し、常識と良識に基づいて行動します
- 職務上知りえた個人情報の秘密を守ります
- 保育士・保育教諭として、常にその専門性の向上に努めます
- 保護者との信頼関係の構築に努めます
- 常に自己の責任の下に行動し、報告・連絡・相談を怠りません
- 他の職員との間で、お互いに良好な関係を保つ努力をします

【施設の概要】

認定こども園 さくらづか保育園 園長：村上 美香

所在地：〒561-0881 豊中市中桜塚2丁目9番24号

連絡先：TEL/06-6843-5868 FAX/06-6858-8088

E-mail/sakura5868@sakuraduka.ed.jp

幼保連携型認定こども園 のばたけ保育園 園長：吉田 純彦

所在地：〒560-0053 豊中市向丘3丁目2番1号

連絡先：TEL/06-6848-4560 FAX/06-6848-4426

E-mail/nobatake1@road.ocn.ne.jp

のばたけマミー保育園 園長：長橋 佳子

所在地：〒560-0002 豊中市緑丘4丁目35番19号

連絡先：TEL/06-6853-3533 FAX/06-6151-5455

E-mail/nobatake.mami@clock.ocn.ne.jp



法 人 計 画

平成30年度から北摂ブロックの主要な方々に当法人の役員等に入っていたが、法人の在り方や運営方法などを教えていただき、健全な運営を行っていきける土台が構築されたことや事業譲渡についての結論が出たので、令和7年度からは仮の法人体制ではなく、主に元来の法人体制に戻して運営を行っていく方針である。

さくらづか保育園の大きな計画としては園庭の改造である。職員との意見交換会を幾度も取り交わしたのと大阪・関西万博の影響で予定していた施工業者が動けなくなり着工が遅れたが、ビオトープを取り入れ、更にインクルーシブ遊具の増設や現遊具を改修して新しい園庭を創り上げる。

のばたけ保育園は1号認定の受け入れが順調に伸びてきている。経営面においては、職員の環境整備に注力した結果人件費の増大につながったので、今年度は人件費の見直しをしっかりと行い事業の安定に努めていく。定期借地権の満了期まではあと2年となり、さくらづか保育園の契約更新内容に追随することになるので、しっかりと打合せを交わしていく。

のばたけマミー保育園は、8月31日で設立より丸10年となる。引き続き福祉活動に尽力し、地域に愛され続ける園として根付いていけるように取り組んでいくとともに、のばたけマミー保育園の保育に共感してもらいお子さんが大切な時を過ごす場所として選んでもらえる園を目指して保育に取り組んでいく。

地域貢献に関しては、引き続き地域住民や自治会と連携して、防災についてより密接な関係性を築いていき何が災害時に必要で、どんな支援が出来るかなどを話せる機会を作っていく。また、自治会行事も通常活動ができていますので、出来る限り地域と施設の密着した関係性を築いていくほか、「大阪しあわせネットワーク事業」を活用して地域の生活困窮者の情報を拾い出し、相談支援・経済的援助を行っていく。

各施設計画

【認定こども園 さくらづか保育園】

利用定員：

区分	3号認定			上段：2号認定 下段：1号認定			合計
年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	
定員	9名	20名	22名	23名 2名	23名 2名	23名 2名	120名 6名
弾力化実員 (4/1 予定)	15名	24名	24名	26名 1名	26名 2名	27名 1名	142名 4名

職員数：

種別	園長	主幹保育教諭	保育教諭	助保育教諭	看護師	栄養士	調理員	用務員	事務員
常勤	1名	2名	24名	—	—	1名	2名	—	—
非常勤	—	—	18名	3名	2名	—	2名	1名	2名
合計	1名	2名	42名	3名	2名	1名	4名	1名	2名

学校医：

種別	内科医	歯科医	眼科医	耳鼻咽喉科医	薬剤師	合計
嘱託	1名	1名	1名	1名	1名	5名

第三者委員：岡本清治、松 公造

本年度重点的に取り組む目標・計画

- 子どもが主体的に遊びを作り出し、夢中になって取り組めるような園庭の環境構成の充実を図る
- 小グループの研修を積み重ね保育教諭一人ひとりが発言し、思いを語り合う中で保育教諭としての専門性と視点・視野を広げていき保育の質の向上に努める。
- 子ども・保護者・職員同士の気持ち、気持ちの奥にあるニーズに気づき、保育園に携わる人を大切にする心を育む。
- 夏季休暇を増やし、職員処遇を充実させる。

目標・計画の具体的な項目と取り組み方法

項目	取組方法
保育内容	● 園庭の在り方を職員の意見を基に創り替える。具体的には築山や土管のトンネル・水遊び場・自然の木や草を園庭に配置し、子どもが主体的に遊びを広げていける園庭の環境を整える。また、現在使用している遊具を再塗装・配置換えをし、更にインクルーシブ遊具と融合させて、主に乳児クラスの子どもや障がい児が安心安全に遊び探索活動ができる園庭を作る。 ● 小グループでの研修報告を取り入れ、グループワークを通して思いや課題を語り合う中で、職員一人ひとりの意見が大事にされ保育の実践に繋がっていくことで、保育に対しての意欲や質の向上に努める。 ● 子ども・保護者・職員の気持ちの奥にあるニーズを大切にしようとする関わりを学ぶ研修テーマ“みんなの輪◎”を一年通して取り組む。
職員処遇	● 昨年度から子の看護休暇・介護休暇の有休化を取り入れ、取得する職員が増えてきた。全体的に有給休暇消化もできていたため、夏季休暇の1日を増やして更なる処遇の充実を図る。 ● 子育てをしながら勤務している職員が多く、家族の運動会と園の運動会が重なるケースが多くなってきているため、行事の日程を見直す。 ● 各カリキュラムの書式や内容を見直して、本当に必要な書類に整理し、書類作業の軽減に繋げる。 ● 職員配置が整い、退勤15分前には保育の現場から離れて作業ができる時間帯が確保できそうなので、勤務終わりの時間を事務作業や次の日の保育準備に充て、残業ゼロにすることは勿論の事、更なる保育内容の充実を図る。
地域貢献	● スマイルサポーターを3名配置。地域の方の相談窓口として努めていく。 ● 園庭開放、0歳・1歳児親子対象の【さくらっこサークル】・一時保育の内容を充実させ、地域の親子支援に努める。 ● 赤ちゃんの駅（園庭解放・オムツ交換、授乳室の提供） ● 保育実習生・ボランティアの積極的な受け入れ。 ● AEDの設置及び掲示 ● 地域の自治会の会議や地域福祉ネットワーク会議に積極的に参加し、常に地域に貢献できることを探りながら取り組んでいく。 ● 地域の高齢者の会【まほろば会】の行事に参加し、世代間交流を行う。

その他特記事項（施設整備関係）

- 園庭ビオトープ&インクルーシブ遊具
- 太陽光発電＋蓄電池システム

【幼保連携型認定こども園 のばたけ保育園】

利用定員：

区分	3号認定			上段：2号認定 下段：1号認定			合計
年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	
定員	15名	25名	30名	30名 3名	30名 3名	30名 3名	160名 9名
弾力化実員 (4/1 予定)	15名	25名	36名	30名 4名	30名 3名	46名 4名	182名 11名

職員数：

種別	園長	副園長	主幹保育教諭	保育教諭	看護師	調理員	用務・警備員	事務員
常勤	1名	1名	2名	37名	1名	3名	—	2名
非常勤	—	—	—	8名	—	4名	2名	—
合計	1名	1名	2名	45名	1名	7名	2名	2名

学校医：

種別	内科医	歯科医	眼科医	耳鼻咽喉科医	薬剤師	合計
嘱託	1名	1名	1名	1名	1名	5名

第三者委員：安芸雅美、平川郁子

本年度重点的に取り組む目標・計画

- 子どもが主体的に行動できる保育計画や環境づくりに努める。
- 人権保育を養うためにインクルーシブ保育を継続し、配慮の必要な子どもがいる中で子どもたち自身が自分たちの力で考え行動できる力や、自己肯定感を育む保育を実践する。
- 新人教育に力を入れ、園の保育方針や基本的な社会人としてのルール・保育の基礎をしっかりと伝える時間を作り園全体で取り組む。新人だけでなくリーダー含め職員全員が園やクラスの保育方針の方向性をしっかりと理解し同じ方向を向いて保育をする。

目標・計画の具体的な項目と取り組み方法

項目	取組方法
保育内容	● 子どもの主体性を育む取り組みとして、ふれあいグループ（異年齢交流）やインクルーシブ保育などのいろいろな友だちと交流できる機会を増やし、日々の保育の中で自分たちで考えたり話し合ったりできる時間を作っていく。 ● 成長に合わせた遊び込める保育環境の見直しや公開保育に取り組むなど、保育の振り返りの時間を定期的に持てるようにし、自身の保育の反省評価し保育の質の向上に努める。定期的に人権擁護のセルフチェックを行うようにする。 ● 昨年度に引き続き支援のいる子どもが多いので、インクルーシブ保育の会議を月1回設け悩みを聞いたり援助の仕方など情報を共有するなど一人一人にあった配慮や援助をみんなで考えていく。 ● リトミックなど体幹を鍛える保育を0～5歳児まで一貫して取り組めるような体制を整えていく ● 運動会・発表会などの年間行事において、子どもが主体となり子ども自身が少し難しくても挑戦したいと思えるような内容を考え、支援が必要な子が増えていく中でも、個性を出し一人一人が輝ける行事にしていく。
職員処遇	● 新人研修や園内研修を充実させ、園の方針や保育をしっかりと伝える場を作っていく。 ● 有休取得率を上げ、自分で計画的に休みを取れるようにし自分で有休管理できるように有休の取り方など工夫していく ☆ 有休の取得率100パーセントを目指し、夏休みを4日にするなど職員がリフレッシュできるようにし、保育にしっかり向き合える働き方ができるようにする ● 悩みを共有したり相談し合えたり、本音を言い合える職員環境づくりに努める。 ● 勤務時間内に事務時間を組み込むことを確実にし、一人ひとりが事務作業の予定を立てやすく、勤務内に行える環境にする。
地域貢献	● 年長児のメルシーへの訪問など高齢者施設と交流する。 ● 出前保育・こっこびよびよ（01歳児サークル）園庭開放など地域との交流をさらに深め、より地域へ貢献できるようにHPなどで情報発信をしていく。 ● スマイルサポーターを主幹が兼ねているので、地域の相談窓口としてこっこびよびよなどの地域の活動に参加し子育て中の保護者に寄り添う。 ● 高校生・実習生を積極的に受け入れ、適切な指導や助言を行っていく。 ● 園独自の特色やアピールポイントを見学者に伝えたり、HPのブログなどを活用しこまめに発信していく。

その他特記事項

【のばたけマミー保育園】

利用定員：

区分	3号認定			2号認定			合計
年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	
定員	6名	7名	7名	—	—	—	20名
弾力化実員 (4/1 予定)	4名	10名	8名	—	—	—	22名

職員数：

種別	園長	主任保育士	保育士	看護師	栄養士	
常勤	1名	1名	9名	1名	2名	—
非常勤	—	—	3名	—	—	
合計	1名	1名	12名	1名	2名	

嘱託医：

種別	内科医	歯科医	眼科医	耳鼻咽喉科医	薬剤師	合計
嘱託	1名	1名	—	—	—	2名

第三者委員：安芸雅美、平川郁子

本年度重点的に取り組む目標・計画

- 豊中市の教育保育環境ガイドライン評価を軸に、保育の質の向上や子どもの人権を大切にした保育に全職員で取り組む。
- 安心安全な保育環境を整え、自然を生かした教育・保育を実践する。
- 防災と安全対策として、外部指導員（警察）による不審者対応訓練の実施や地域との連携や総合防災訓練に参加するなどし、園児の安全についてより意識を高めていく。
- 地域子育て家庭支援の充実と定着を図る。

目標・計画の具体的な項目と取り組み方法

項目	取組方法
保育内容	● 園内外の研修等で職員一人ひとりの人権意識を高め、子どもたちの人権を意識した声かけができるようにしていく。 ● 子どもが人や物、事を出会うときに気づいたり感じたりしていることに保育者が気づき、環境の調整を繰り返す保育を展開する。 ● 自然現象に触れる中で、一人ひとりがそれぞれの感性で自己表現できるような環境設定を行い、子どもが自ら試行錯誤するプロセスを大事にしていく。(水・砂、石・草花・木・土・虫・空・風・気候等)
職員処遇	● 保育士の事務作業の負担を軽減するため書類の書式を見直していく。また、年間行事の実施についても更なる見直しを行い、職員の負担軽減を図る。 ● 職員がそれぞれの役割を自覚し、保育への前向きな姿勢を常に持つよう、資質向上を図る研修を計画・実施する。 ● 働きやすい環境作りの為の風通しの良い組織づくりに取り組む。
地域貢献	● 月1回「みんなであそぼ」や夏祭り等で地域の0~2歳児及び保護者や妊産婦との交流や遊びの場の提供、育児相談の実施 ● スマイルサポーター（5名在籍）による育児相談 ● 赤ちゃんの駅（オムツ交換・授乳場所の提供） ● 異世代交流 地域の高齢者施設「アクティブライフ豊中」訪問 ● 公園清掃活動や地域の親子との交流 ● AEDの設置および掲示 ● 絵本の貸出し

その他特記事項（施設整備関係）